



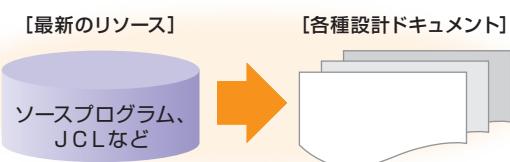
リドキュメントサービスのコンセプト

永年運用してきた既存システムの設計情報は、様々な事情で、稼動しているシステムの状態(設定)と一致しない場合や、設計情報そのものの紛失や更新漏れを起こしている場合があります。

リドキュメントサービスは、維持管理業務や最適化に向けての検討で必要となるシステムの状態(設定)を把握するための設計情報を最新のリソース(ソースプログラム、JCLなど)から生成するサービスです。

リドキュメントサービスで提供する生成ドキュメント

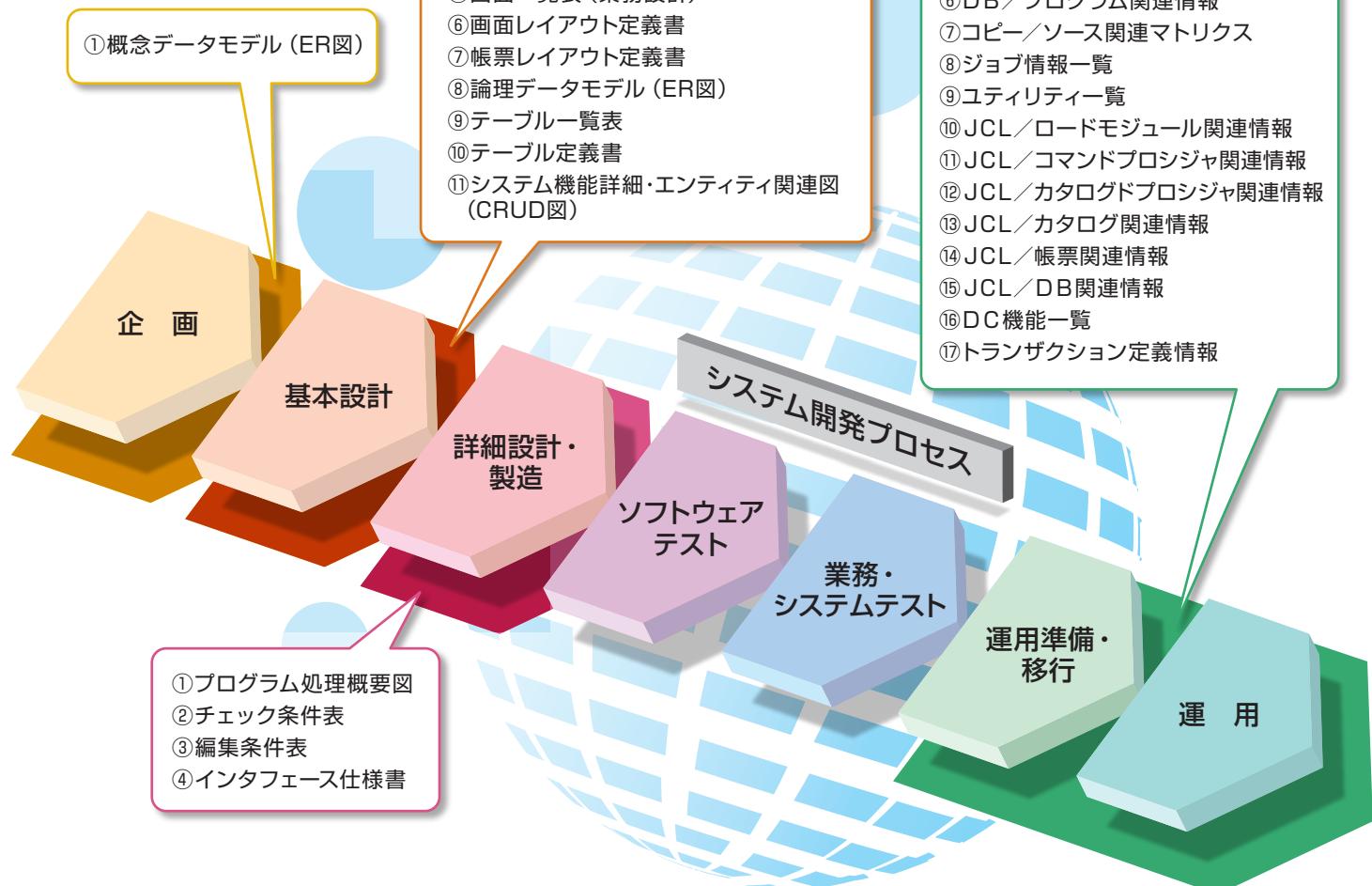
最新のリソースをご提供いただくことにより、仕様書が更新されていない、仕様書そのものがないプログラムの設計情報や、システム全体の状況を把握するための管理情報を生成します。



生成される 設計ドキュメント

- ①概念データモデル (ER図)
- ②業務機能定義書 (HIPO図)
- ③ジョブフロー図 (概要)
- ④ファイル・レコード定義書 (外部インターフェース)
- ⑤画面遷移図
- ⑥画面一覧表 (業務設計)
- ⑦画面レイアウト定義書
- ⑧帳票レイアウト定義書
- ⑨論理データモデル (ER図)
- ⑩テーブル一覧表
- ⑪テーブル定義書
- ⑫システム機能詳細・エンティティ関連図 (CRUD図)

- ①資産管理台帳
- ②CALL関連マトリクス
- ③モジュール関連図
- ④画面／プログラム関連情報
- ⑤帳票／プログラム関連情報
- ⑥DB／プログラム関連情報
- ⑦コピー／ソース関連マトリクス
- ⑧ジョブ情報一覧
- ⑨ユーティリティー一覧
- ⑩JCL／ロードモジュール関連情報
- ⑪JCL／コマンドプロシージャ関連情報
- ⑫JCL／カタログドプロシージャ関連情報
- ⑬JCL／カタログ関連情報
- ⑭JCL／帳票関連情報
- ⑮JCL／DB関連情報
- ⑯DC機能一覧
- ⑰トランザクション定義情報



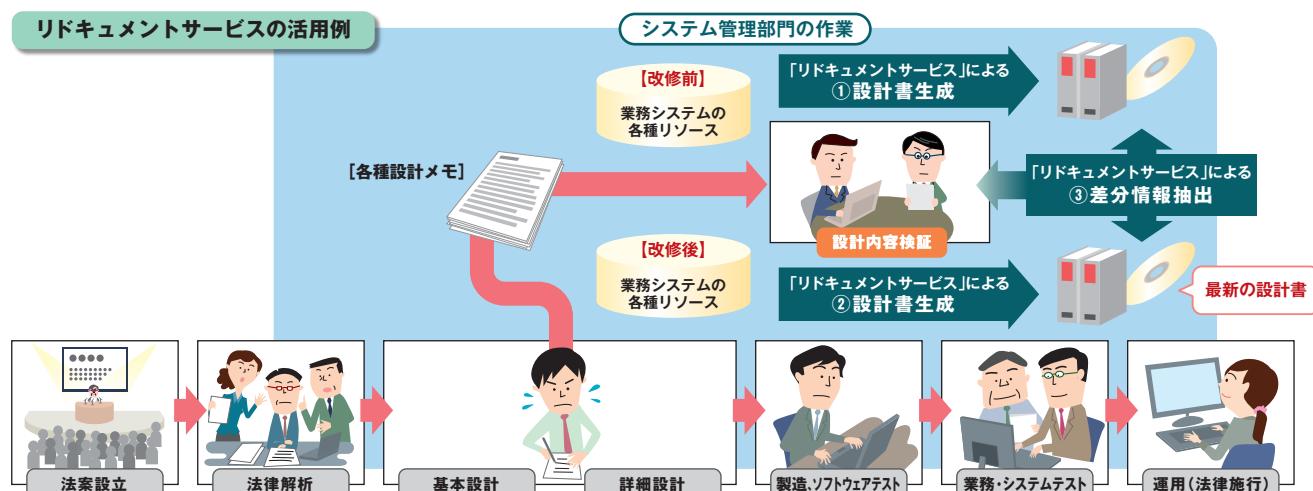
システム開発プロセスの流れ

最新のリソースをご提供いただくことにより、仕様書が更新されていない、仕様書そのものがないプログラムの設計情報や、システム全体の状況を把握するための管理情報を生成します。



リドキュメントサービスを活用した仕様点検・確認

改修前のリソースで設計情報を生成・管理しておけば、改修後のリソースで設計情報を生成し、差分抽出した情報は改修仕様の確認や各種設計メモとの点検で活用できます。



商標に関する表示

- 記載されている製品名、商品名、社名は、各社の商標、登録商標です。

※ 本カタログの内容は、2025年6月現在のものです。

※ 製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

※ 本製品を輸出される場合には、「外国為替及び外国貿易法」の規制ならびに米国輸出管理規制など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

株式会社 日立社会情報サービス

<https://www.hitachi-sis.co.jp/>

ソリューション・製品に関するお問い合わせ

ソリューション・製品サイト

<https://www.hitachi-sis.co.jp/migration/>